

公共施設マネジメント市民ワークショップ 結果報告

平成30年11月17日(土)、12月1日(土) 開催

目次

1.市民ワークショップ開催概要	3
1-1.市民ワークショップ開催概要	4
1-2.市民ワークショップ開催模様	6
2.公共施設再編ゲーム	8
2-1.公共施設再編ゲーム実施概要	9
2-2.公共施設再編ゲーム実施結果(全体)	13
2-3.公共施設再編ゲーム実施結果(広域施設)	15
2-4.公共施設再編ゲーム実施結果(地域施設)	28
2-5.公共施設再編ゲーム総括	40
3.市民ワークショップアンケート調査結果	42
3-1.調査概要	43
3-2.市民ワークショップに参加した感想	45
3-3.自由回答	46

1.市民ワークショップ開催概要

市民ワークショップ開催概要

	1日目	2日目
日時	平成30年11月17日(土) 14時～16時30分	平成30年12月1日(土) 14時～16時30分
場所	ティアラ21 4階ハートピア会議室	
次第	<p>1. 開会の挨拶 14:00～14:05</p> <p>2. 講演「熊谷市の現状と取組」 14:05～14:20 有限責任監査法人トーマツ パートナー 公認会計士 宗和 暢之</p> <p>3. 公共施設再編ゲーム・ルール説明 14:20～14:40 熊谷市 総合政策部 行政改革推進室</p> <p>4. 公共施設再編ゲーム 14:40～16:10 (全市的検討フェーズ:広域施設対象)</p> <p>5. 発表 16:10～16:25</p> <p>6. 閉会の挨拶 16:25～16:30</p>	<p>1. 開会の挨拶 14:00～14:05</p> <p>2. 公共施設再編ゲーム・ルール説明 14:05～14:20 熊谷市 総合政策部 行政改革推進室</p> <p>3. 公共施設再編ゲーム 14:20～16:05 (エリア別検討フェーズ:各担当エリアの広域施設と地域施設)</p> <p>4. 発表 16:05～16:20</p> <p>5. 閉会の挨拶 16:20～16:25</p> <p>6. アンケート記入 16:25～16:30</p>

市民ワークショップの参加者概要と開催目的

参加者概要

市報及び市ホームページによる一般公募による募集を行った結果、16名の市民の方が参加した。

1日目：13名（1日目のみ 4名）

2日目：12名（2日目のみ 3名）

【参加者内訳】

20代	2人	50代	3人
30代	3人	60代	1人
40代	5人	70代	2人

開催目的

- ✓ ワークショップに参加する市民にゲーム形式で楽しみながら公共施設の維持・再編問題に対する理解を深めてもらうことを目的とする。
- ✓ ゲームの中で思い切った再編案や統廃合案などをいくつも試しながら、市民自身に市の将来像を描いてもらうことで、市政に対する意識・関心をより一層高めてもらうことを目的とする。
- ✓ 今後の熊谷市の公共施設マネジメントの詳細を定める個別施設計画（平成31年度策定予定）に市民からの意見を取り入れ、計画をより良いものにすることを目的とする。

市民ワークショップ実施事項概要

講演「熊谷市の現状と取組」概要

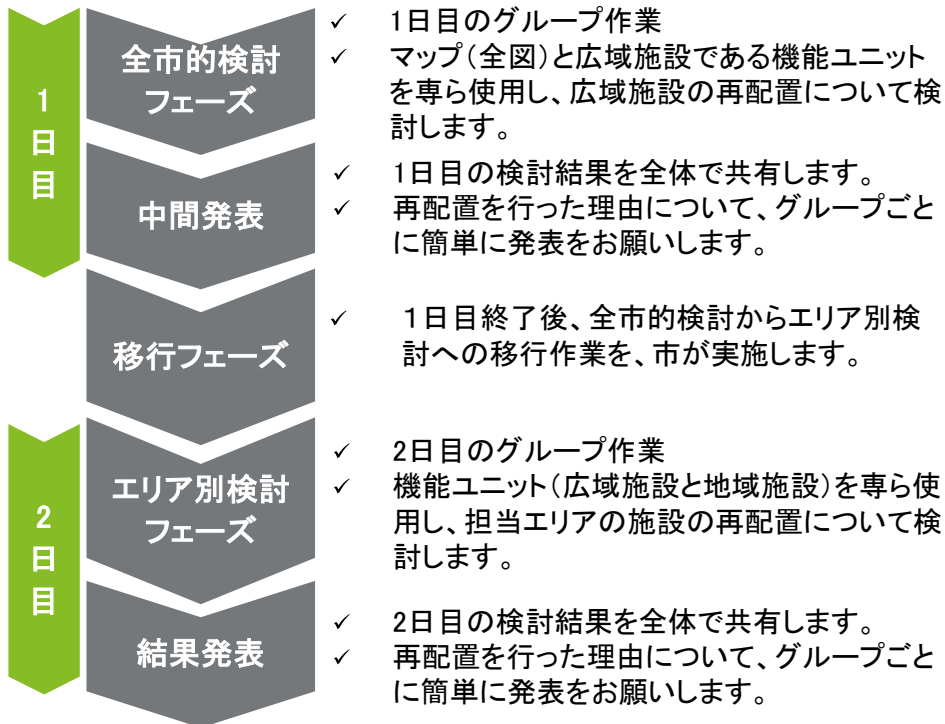
- 熊谷市の歴史や人口推計、財政推計などの基礎情報に加え、熊谷市の現状の公共施設の数や施設系統別延床面積割合、各エリアの配置状況について説明した。
- 熊谷市の公共施設の老朽化状況や時代にそぐわない施設について説明した。
- 「熊谷市公共施設アセットマネジメント基本方針」や「熊谷市公共施設アセットマネジメント基本計画」で策定された6つの全体方針について説明した。
- 公共施設の再編方法と熊谷市の公共施設の再編イメージについて説明した。
- アセットマネジメントに関する取組の特徴について述べた。



市民ワークショップ実施事項概要

公共施設再編ゲーム概要

- 市民に、熊谷市の公共施設の現状と課題を共有し、具体的な公共施設を想定して、どのような再編考えられるかを公共施設再編ゲームを通じて検討を行った。
- 各グループ3～5名の計3グループに分かれて2日間にわたり公共施設再編について検討を行った。



2.公共施設再編ゲーム

2-1. 公共施設再編ゲーム 実施概要

公共施設再編ゲーム ゲーム概要

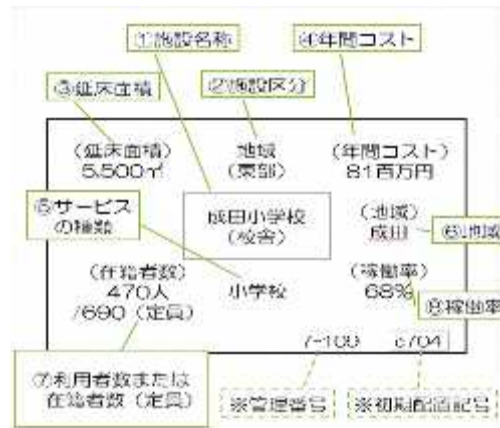
ゲーム概要

- 熊谷市の全域又は特定のエリアを表示する「マップ(地図)」や「配置先カード(用地)」の上で、「機能ユニット(施設)」と呼ばれる駒を動かして、あるべき公共施設の配置状況を考えたり、今後不要な施設の廃止と引き替えに確保した「予算」を使って新たな施設を配置したりといった検討作業を実施する。
- ゲームとしては、配置先カード(用地)への機能ユニット(施設)の移転・集約という「整理整頓・お片付け感覚」と機能ユニット(施設)の売買という「お買い物感覚」の2つの感覚でプレイする。
- 「機能ユニット(施設)」は、ゲームにおける最も主要な操作対象であり、具体的には、庁舎、ホール、図書館、小学校、保育所などの個々の施設の機能を表している。
- 「配置先カード(用地)」は、機能ユニットが配置(収容)される場所であり、具体的には、個々の施設が存在・立地している用地(敷地)のことを指す。ただし、比較的小規模な施設の機能ユニットは、マップ上に直接貼り付けてある。

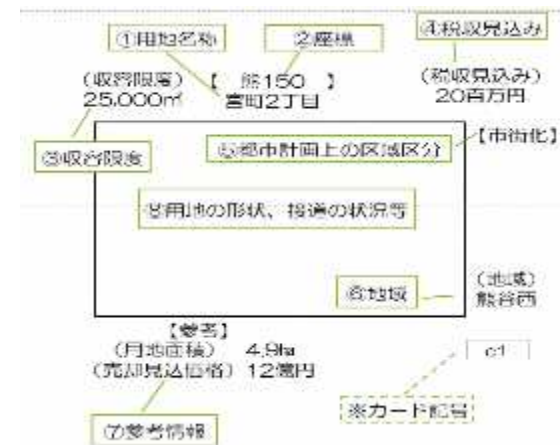
■ マップ



■ 機能ユニット(施設)



■ 配置先カード(用地)



公共施設再編ゲーム ルール概要

ルール概要

■ 対象施設

	定義・考え方	主な施設
広域施設	市民全体で共同利用する施設	庁舎、ホール、消防署、図書館、コミュニティセンターや拠点的な公民館、市民体育館、大規模な公園 など
地域施設	各地域の住民が共同して利用する施設	小・中学校、地域公民館、各種会館、地域体育館、保育所、児童館・児童クラブ など

■ 勝利条件

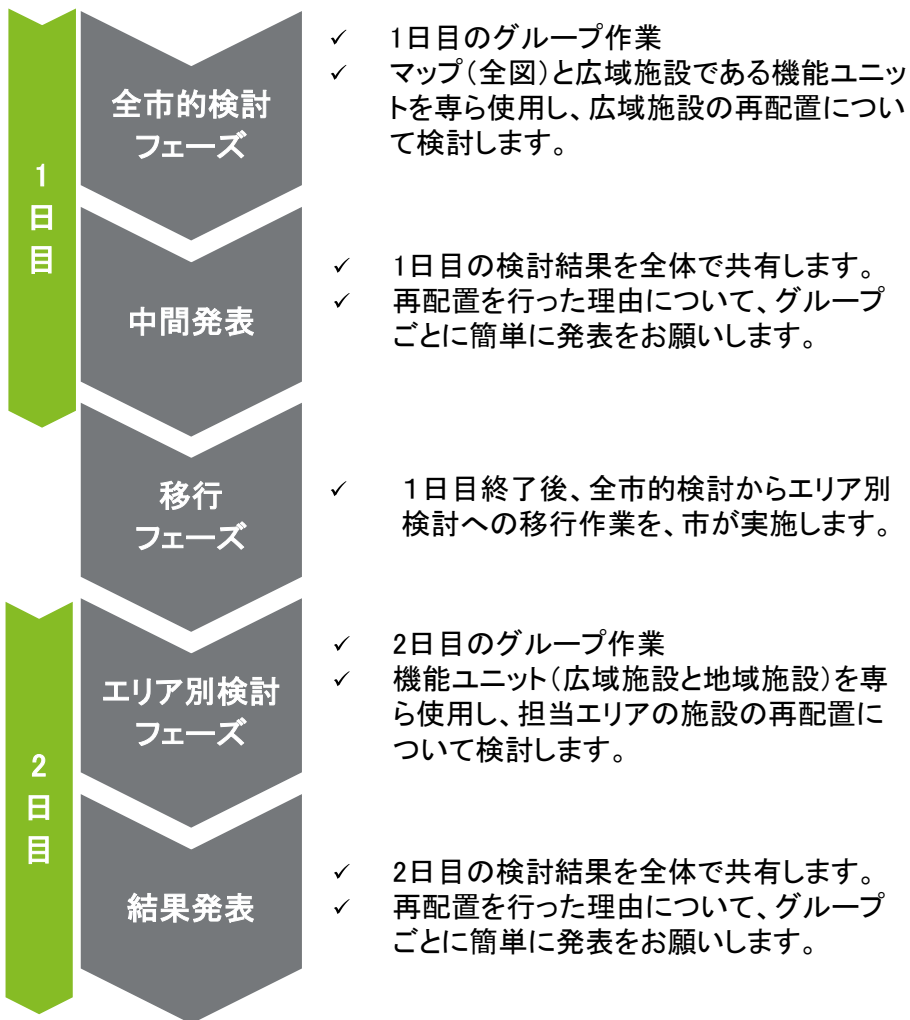
目標	おおむね10年後の熊谷市を想定し、施設の延床面積の削減率10%を目指す。
勝利条件	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 削減率10%以上を達成したグループを「勝者」とする。順位付けは実施しない。 ➢ ただし、削減率に対しては、以下による補正を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ①市民満足度：70%以上だとプラス補正 ②地域満足度：80%以上だとプラス補正 40%未満だとマイナス補正 ③予算残額：100百万円につきプラス補正 ➢ 市民満足度については、広域施設を廃止や新設を実施すると増減する。 ➢ 各初期値：市民満足度70%、地域満足度70%、予算0円

■ ゲームの主な操作

操作メニュー	内容
移転	施設の機能を別の場所に移すこと
集約	サービスの種類が同一である複数の施設を、一体の施設に再編すること
廃止	対象の施設のサービスを廃止すること
新設	予算を使用して、施設を新たに設置すること
跡地売却	施設(機能)がなくなった用地を売却すること
現状維持	対象の施設を現状で維持すること(古くなれば建て替え)
ソフト化	ソフトサービスの提供や公共施設に替えての民間施設サービスの提供など <ul style="list-style-type: none"> ①車両運行 (送迎バス、トラック輸送、循環バス) ②地元譲渡 ③保育所民営化 (通常民営化、公私連携法人協定締結) ④エリア内循環交通網形成

公共施設再編ゲーム プレイ手順

ゲームの流れ



■ 1日目

- 広域施設(全市民が利用する施設)の再配置(移転、新設及び廃止)を、全市マップと広域施設の機能を記している付箋を使い検討する。なお、1日目の対象施設は3グループ共通である。
- 1日目の検討結果及びそのような再配置案とした理由についてグループごとに3分程度で発表を実施。

■ 2日目

- 各グループの担当エリアの施設の再配置(移転、集約、廃止、新設など)について、エリアマップと担当エリア内の施設の機能を記している付箋を使い検討する。なお、各グループの担当エリアは、市のほうで事前に決定している。
- 各グループの担当エリア
Aグループ: 北部エリア
Bグループ: 南部エリア
Cグループ: 西部エリア
- 2日間を通じた検討結果及びそのような再配置案とした理由についてグループごとに3分程度で発表を実施。

2-2. 公共施設再編ゲーム 実施結果(全体)

公共施設再編ゲーム 実施結果(全体)

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
担当エリア	北部エリア	南部エリア	西部エリア
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 街のシンボルとして桜木2丁目に集客力のある複合施設(図書館、美術館、児童遊戯施設等)を新設 ➢ 学校統廃合を積極的に実施し、競争力のあるマンモス校に再編 ➢ 「スポーツ校」や「食育」など地域の特色を活かした学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「アートの街」を目指し、南部エリアに博物館的施設を集約(移転) ➢ 南部エリアにeスポーツの他、雨天にも子どもが遊べる複合施設を新設(市外からの利用者も期待) ➢ 南部エリアの小学校統廃合は、大里地区、江南地区、吉岡地区の各地区に1校ずつ再編 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 学校施設は地域の核となる施設のため、学校統廃合は実施しない。その代わりに集会施設を学校に移転 ➢ さくらめいとに子供向けの児童遊戯施設や図書館が複合された施設を新設
削減面積 (削減率【補正前】)	67,500㎡ (36%)	25,500㎡ (15%)	17,100㎡ (9%)
市民満足度 (補正值)	49% (▲1%)	72% (1%)	56% (0%)
予算残高 (補正值)	636百万円 (6%)	98百万円 (1%)	224百万円 (2%)
削減率【補正後】	41%	17%	11%

2-3. 公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

2-3-1 庁舎

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎 ・男女共同参画推進センター ・熊谷保健センター <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里庁舎 ・妻沼庁舎 ・江南庁舎 <p>⇒本庁舎</p>	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎 ・男女共同参画推進センター ・熊谷保健センター <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里庁舎 ・妻沼庁舎 ・江南庁舎 <p>⇒本庁舎</p>	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎 ・男女共同参画推進センター ・熊谷保健センター <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里庁舎 ・妻沼庁舎 ・江南庁舎 <p>⇒本庁舎</p>
基本方針	本庁舎に機能を集約	今後職員数も減少するため本庁舎に機能集約	中央エリアに機能を集約
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 本庁舎に集めたほうが費用も浮くのではないか。 ➤ 施設を集約することにより利用者にとって不便になることも想定される。 ➤ デジタル機械を使うなどして工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口減少に連動した行政サービス需要の低下に伴い、職員数も減少することが見込まれるため、施設の集約は可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 庁舎の事務機能は特定の人のみが使うため、施設は中央エリアに集約することが望ましい。 ➤ 都市整備課は大里庁舎に入っており、利用の際、遠いと感じている。

公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

2-3-2 窓口

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妻沼保健センター ・母子健康センター <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里庁舎(窓口) ・妻沼庁舎(窓口) ・江南庁舎(窓口) 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妻沼庁舎(窓口) <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康センター ・妻沼保健センター ・江南庁舎(窓口) <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里庁舎(窓口)⇒吉岡小学校 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里庁舎(窓口) ・妻沼庁舎(窓口) ・江南庁舎(窓口) ・妻沼保健センター ・母子健康センター
基本方針	分庁舎の窓口は全て廃止	原則各エリアに1か所ずつ配置	現状維持
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 窓口の年間利用回数を考慮すると廃止が望ましい。 ➤ 住民票の発行などはコンビニで代替が可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ マイナンバーカードの活用によるコンビニ交付が増加すれば、窓口自体を減らしても問題ない。 ➤ 証明書等の電子化(コンビニ交付、マイナンバー制度)が浸透すれば1か所に集約可能ではないか。 ➤ 市民を第一に考えると窓口機能は各エリアに1つ必要である。 ➤ 窓口機能が必要な利用者は高齢者などに限定されている。 ➤ 母子健康センター、妻沼保健センターでの窓口機能は少ない。また、集団検診を民間委託に切り替えることで施設の廃止は可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ コンビニで交付があったとしても高齢者が利用できない可能性が高いため、各エリアに窓口業務はあることが望ましい。 ➤ 窓口機能は庁舎にある必要はなく、駐車場や公共交通機関が整備されている場所に質問対応ができる人を常駐させる方法もいいのではないか。 ➤ 郵便局に窓口業務を移転することも考えられる。

公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

2-3-3 ホール

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化センター 文化会館 ・【さくらめいと】ホール <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【あすねっと】文化ホール ・【ピピア】江南文化会館 ・妻沼中央公民館(大ホール) 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化センター 文化会館 ・【ピピア】江南文化会館 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【さくらめいと】ホール ・妻沼中央公民館(大ホール) ・【あすねっと】文化ホール 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化センター 文化会館 ・【さくらめいと】ホール <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【あすねっと】文化ホール ・【ピピア】江南文化会館 ・妻沼中央公民館(大ホール)
基本方針	施設数を削減し、中央エリアに新設	南部エリアは1カ所のみ配置に変更	ホール数が多すぎるため施設数を削減
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➢ さくらめいととは籠原のシンボルとして現状維持が望ましい。 ➢ 文化センターはもう少し他の機能を複合化させた方が好ましい。 ➢ 妻沼中央公民館は中央エリアへ移転し、複合施設としたほうが良いと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 南部エリアにホール2施設(あすねっと・ピピア)は多いと考えており、1施設を廃止する。 ➢ 文化センターは駅から近く利便性が良く、著名人も呼ぶことができるため、文化・教育のまちにするには必要な施設である。 ➢ 荒川公園を一大文化施設にする。 ➢ 妻沼中央公民館(大ホール)は、北部エリアの住民にとっては重要な施設となっているため、現状維持が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ホール数が多すぎるためいずれかを廃止する必要がある。 ➢ 文化センターとさくらめいととはコンサートが頻繁に開催されている印象がある。 ➢ あすねっとはあまり利用されていない印象がある。 ➢ 文化センターは駐車場台数が少ないため、すぐに満車になってしまう。 ➢ あすねっとやピピアは、どのような利用がなされているか不明であるため、代替できる場所があれば廃止でいいと考えられる。 ➢ ホールは中央エリアと西部エリアに1カ所ずつ配置されているのが望ましい。

公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

2-3-4 図書館

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化センター 熊谷図書館 【あすねっと】大里図書館 【ピピア】江南図書館 妻沼図書館 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化センター 熊谷図書館 【あすねっと】大里図書館 【ピピア】江南図書館 妻沼図書館 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化センター 熊谷図書館 【ピピア】江南図書館 妻沼図書館 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> 【あすねっと】大里図書館 <p>【新設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西部図書館(児童図書館) <p>⇒さくらめいと内に新設</p>
基本方針	現状維持	現状維持	西部エリアに新設し、各エリアに1カ所ずつ配置
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 図書館機能は市民からのニーズが高く、図書館は廃止しない方がいい。 ➢ 図書館を新設する際には、立派なものを複合施設で作るのが望ましい。 ➢ 図書館機能を残し、当該機能を拠点に複合化し、コミュニティの場となるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 図書館は必要な施設であり、むしろ新設したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 図書館を増設してほしいという声がある。また、専門書ももっとほしい。 ➢ 妻沼図書館は比較的空いているため、よく利用している。また、熊谷図書館は駐車台数が少ないため利用しづらい。 ➢ 各エリアに図書館を設置する際には、各エリアで専門書など蔵書の分野をそれぞれ特化させることが望ましい。 ➢ 絵本を1カ所に集めてそこでおはなし会を開催するのがいいと考えられる。 ➢ 南部エリアは1カ所あればいいと思う。 ➢ 廃校や空き教室などに機能を移転し、活用するのもいいと考えられる。 ➢ 図書館機能を検討するポイントは「蔵書」と「交通の便」と考えられる。

公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

2-3-5 博物館

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化センター 美術・郷土資料展示室 文化センター プラネタリウム館 荻野吟子記念館 妻沼展示館 【くまぴあ】埋蔵文化財整理所 <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> 江南文化財センター⇒中央エリア <p>【新設】</p> <ul style="list-style-type: none"> (仮)美術館・図書館 ⇒桜木町2丁目(中央エリア) 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 荻野吟子記念館 <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化センター 美術・郷土資料展示室 文化センター プラネタリウム館 江南文化財センター 【くまぴあ】埋蔵文化財整理所 ⇒南部エリアに集約 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> 妻沼展示館 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化センター 美術・郷土資料展示室 文化センター プラネタリウム館 荻野吟子記念館 妻沼展示館 【くまぴあ】埋蔵文化財整理所 <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> 江南文化財センター ⇒中央エリア(場所未定)
基本方針	歴史的背景などから集約が可能な施設については1カ所に集約	南部エリアに博物館的施設を集約	文化財倉庫を集約
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 規模が小さく、立地も中途半端であるため集約させるのが望ましい。 ➢ バスをつけるまで必要な施設なのか検討すべきである。 ➢ 文化的建物がある場合は施設を残し、中の機能は集約する。 ➢ 現在地から移転することが望ましくない施設は残し、残りの施設は1カ所に集約することを検討する。 ➢ 北部エリアは聖天様があるので現状維持が望ましい。 ➢ 県北の中心都市として、熊谷にシンボルとなる複合施設は必須である。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 施設が多く点在しているため、南部に集約(移転)したい。ただし、荻野吟子記念館は、現在の場所にあることに意味があるため、移転せずに存続させる。 ➢ 市内に点在している博物館的施設を南部(江南庁舎)に集約し、南部をアートの拠点とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 埋蔵文化財整理所は校舎の空き教室を活用して展示がなされている。 ➢ 荻野吟子記念館の後ろに記念碑があり、両者は近くにあった方が望ましいものの、最低限展示ができればいいため、妻沼展示館に機能移転をする。 ➢ プラネタリウム館は市外からの利用もあり、星への興味関心を啓発するために現状維持が望ましい。 ➢ 埋蔵品の収蔵は廃校舎を活用すれば良い。 ➢ 文化財倉庫は1カ所に集約するのが望ましい。

公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

2-3-6 診療所

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	【現状維持】 ・休日・夜間急患診療所	【現状維持】 ・休日・夜間急患診療所	【現状維持】 ・休日・夜間急患診療所
基本方針	現状維持	現状維持	現状維持
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 休日・夜間診療所は現在中央エリアにあるが、もし南部エリアに移転する場合には、川を挟む移動になるため、中央エリアのままが良い。 ➤ 急病など何かあったときのために機能をなくすべきではない。 ➤ コスト的にも現状維持で問題はない。 ➤ 急患診療所は場所はそのままで規模をもう少し大きくても良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 命に関わる施設は現状維持が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 命に関わる施設(診療所や消防施設)は残しておくべきである。

公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

2-3-7 水浴施設

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	<p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康スポーツセンター 老人福祉センター(上之荘) 老人福祉センター(別府荘) 老人福祉センター(ひかわ荘) 老人福祉センター(江南荘) 熊谷運動公園 屋外プール 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康スポーツセンター 熊谷運動公園 屋外プール 老人福祉センター(ひかわ荘) <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センター(上之荘) 老人福祉センター(別府荘) 老人福祉センター(江南荘) 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康スポーツセンター 熊谷運動公園 屋外プール <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センター(上之荘) 老人福祉センター(別府荘) 老人福祉センター(ひかわ荘) 老人福祉センター(江南荘)
基本方針	水浴施設は全廃止	代替施設のある老人福祉センターは廃止	老人福祉センターは廃止し、民間施設へ機能を移転
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センターの運営は民間に任せるべきである。 稼働率も高くないため、廃止しても問題ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外プールは子供たちのために必要である。 老人福祉センターは老朽化しているため、民間施設の利用を促すことで廃止する。ただし、ひかわ荘は近くに民間施設がないため現状維持とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 民間の温泉施設で高齢者割引などを導入するなどして機能を代替することが望ましい。 機能代替に当たっては、他市の民間温泉施設利用も検討してもよい。 老人福祉センターの主な利用者は70代以上であり、現在の60代の多くは民間の温泉施設を利用していることから、10年後老人福祉センターを利用する可能性が必ずしも高いとは限らない。 プールは利用率も高く機能として必要である。

公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

2-3-8 児童遊戯施設

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	【新設】 ・(仮称)キッズピアくまがや ⇒桜木町2丁目に新設	【新設】 ・(仮称)アトスポーツ広場 ⇒駒形公園に複合施設として新設	【新設】 ・(仮称)さくらんぼめいと ⇒さくらめいとに新設
基本方針	桜木町2丁目に複合施設として新設	駒形公園に複合施設として新設	さくらめいと内に複合施設として新設
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 子育て環境の充実のため屋内児童遊戯施設を新設。新設に当たっては、図書館、美術館、博物館等との複合施設とし、市のシンボルとなるような施設とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊び場として、雨天時にも遊べる施設の他、eスポーツができる施設を新設したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供の遊び場が熊谷市内にはなく、他市の森林公園や群馬県の遊戯施設を利用している。そのため、雨の日に子供たちが遊べるような施設を新設したい。

2-3-9 公民館

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	【現状維持】 ・中央公民館 【廃止】 ・妻沼中央公民館(公民館)	【現状維持】 ・中央公民館 ・妻沼中央公民館(公民館)	【現状維持】 ・妻沼中央公民館(公民館) 【廃止】 ・中央公民館
基本方針	妻沼中央公民館は廃止	現状維持	他施設に機能移転できる施設は廃止
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館は新設予定の複合施設と機能が重複しているため、他の場所に機能移転をしても問題ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館については、中央エリア内で移転を検討しても良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 妻沼中央公民館については、地域公民館という側面もあり、地域住民のために現状維持が良い。 中央公民館で現在行っている講座等は他施設で実施できるため廃止が望ましい。

公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

2-3-10 貸館

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里コミュニティセンター ・市民活動支援センター ・商工会館 ・【くまぴあ】生涯学習施設 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊谷コミュニティセンター ・障害福祉会館 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里コミュニティセンター ・市民活動支援センター ・障害福祉会館 ・商工会館 ・【くまぴあ】生涯学習施設 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊谷コミュニティセンター 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援センター ・障害福祉会館 ・商工会館 ・【くまぴあ】生涯学習施設 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊谷コミュニティセンター ・大里コミュニティセンター
基本方針	利用者が多い施設は現状維持	代替施設のある熊谷コミュニティセンターは廃止	他施設に機能移転できるコミュニティセンターは廃止
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 機能としては必要だが、現在の施設は狭く不便である ➢ 同じ貸館施設が市内に多数あるため、近隣施設との集約が望ましい。 ➢ 市民活動支援センターについては、利用者が多数いるため、現状維持した上で、老朽化に伴い建て直すことが望ましい。 ➢ くまぴあは維持コストがかかりすぎている。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ くまぴあは比較的最近開館したばかりの施設なので、これから利用が増えると思う。 ➢ 熊谷コミュニティセンター、障害福祉会館、商工会館は耐用年数到来時点から年月が経過しているため廃止が望ましい。 ➢ 熊谷コミュニティセンターの機能は、中央公民館が担うことで代替が可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 貸館機能を民間施設や空き教室で代用できるのではないかと。 ➢ くまぴあは一部を貸館機能から別機能に移転することを検討しても良い。 ➢ 熊谷コミュニティセンターについては、場所を知らないぐらいなので廃止が望ましい。 ➢ 商工会館は、現在の建物を耐震工事し、現状維持が望ましい。

公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

2-3-11 売店等(道の駅)

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	<p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅めぬま <p>【新設】</p> <ul style="list-style-type: none"> カフェ <p>⇒美術館、博物館の複合施設内に新設</p>	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅めぬま 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅めぬま <p>【新設】</p> <ul style="list-style-type: none"> (仮称)めいと喫茶 <p>⇒さくらめいととの複合施設内に新設</p>
基本方針	利用者が多い施設は現状維持	現状維持	複合施設内にカフェを新設
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 道の駅は魅力が感じられず、廃止を検討してもいいのではないか。 ➤ 道の駅は施設自体が時代遅れのように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新設の西部図書館内にカフェが併設されることにより、本に気軽に触れることができる図書館になるため、新設すべきである。

公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

2-3-12 体育館

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊谷運動公園 弓道場 ・【くまぴあ】体育館 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民体育館 ・武道館 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民体育館 ・熊谷運動公園 弓道場 ・【くまぴあ】体育館 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道館 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民体育館 ・熊谷運動公園 弓道場 ・【くまぴあ】体育館 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道館
基本方針	他の体育館施設で代替できる施設は、原則廃止	他の体育館で代替できる武道館以外は原則現状維持	利用率の高い施設については原則現状維持
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 市民体育館は他の体育館施設を活用できるため、駅の近くにある必要はない。 ➢ 市民体育館は駐車場台数が少ないため不便である。 ➢ くまぴあは今後利用が伸びてくると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 武道館の機能は、市民体育館と熊谷運動公園弓道場で代替可能であり、廃止が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ くまぴあはアクセスがよく便利な施設のため現状維持が望ましい。 ➢ 市民体育館は特に土日の利用が多く、現状維持の方向性が望ましい。

公共施設再編ゲーム 実施結果(広域施設)

2-3-13 プール

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	【現状維持】 ・熊谷運動公園 屋内プール	【現状維持】 ・熊谷運動公園 屋内プール	【現状維持】 ・熊谷運動公園 屋内プール
基本方針	現状維持	現状維持	現状維持
主な意見	➤ プールは1つしかないため、現状維持が望ましい。	➤ なし	➤ なし

2-3-14 給食施設

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
再編結果	【現状維持】 ・熊谷学校給食センター ・江南学校給食センター	【現状維持】 ・熊谷学校給食センター ・江南学校給食センター	【現状維持】 ・熊谷学校給食センター 【集約】 ・江南学校給食センター ⇒熊谷学校給食センター
基本方針	現状維持	現状維持	熊谷学校給食センターに集約
主な意見	➤ なし	➤ なし	➤ 今後児童数が減少するため、熊谷学校給食センターへの機能集約が望ましい。

2-4. 公共施設再編ゲーム 実施結果(地域施設)

公共施設再編ゲーム 実施結果(地域施設)

2-4-1 公民館

	Aグループ(担当:北部エリア)	Bグループ(担当:南部エリア)	Cグループ(担当:西部エリア)
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長井公民館 <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良公民館⇒奈良小学校 ・妻沼公民館⇒妻沼小学校 ・太田公民館⇒太田小学校 ・男沼公民館⇒男沼小学校 ・小島公民館⇒小島小・中学校 ・秦公民館⇒秦小学校 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【ピピア】江南公民館 <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉岡公民館⇒吉岡小学校 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新堀公民館 ・三尻公民館 ・玉井公民館 ・籠原公民館(公民館) <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大麻生公民館⇒大麻生小学校 ・別府公民館⇒別府小学校
基本方針	原則小学校に公民館機能に移転	学校施設に移転し地域の拠点施設とする	原則小学校の空き教室を利用できる公民館については移転
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➢ エリアの住民に公民館をPRし、地域ごとに合った活用を図ることで、公民館の利用率をもっと上げるべきである。 ➢ 利用人数が少ないと教室や講座など組織的な活動ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 小中学校に公民館機能に移転し、地域の拠点となるような施設にすることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 小学校の空き教室を活用するべきである。 ➢ 学校施設に公民館機能など様々な機能を集約することで、多世代交流施設にすることが望ましい。 ➢ さくらめいとの会議室を西部エリアの公民館機能に転用はできないか。 ➢ 高齢者は公民館の利用が活発である。

公共施設再編ゲーム 実施結果(地域施設)

2-4-2 貸館

	Aグループ(担当:北部エリア)	Bグループ(担当:南部エリア)	Cグループ(担当:西部エリア)
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めめま農業研修センター <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妻沼勤労福祉会館⇒妻沼小学校 ・農業活性化センター【アグリメイト】⇒奈良小学校 ・中条農村センター(中条公民館)⇒中条中学校 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小島小・中学校(校舎) 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里ふれあいセンター ・江南勤労福祉センター <p>【地元譲渡】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江南コミュニティセンター ・江南第二コミュニティセンター <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人憩の家 吉岡荘 ・江南農村センター ・江南農業総合センター ・江南農業研修センター 	<p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【さくらめいと】会議室
基本方針	原則小・中学校に機能を移転	施設数が多いため原則地元譲渡または廃止	貸館機能は公民館機能に移転し施設は廃止
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➢ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 稼働率が低い施設は廃止が望ましい。 ➢ 実態として集会所としての利用がほとんどの施設については、地元へ譲渡するべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ さくらめいとの会議室では、本来の利用目的とは関係ない市民以外の団体の講座等の利用がなされているため、貸館機能は公民館に移転し、会議室をカフェに改装することが望ましい。

公共施設再編ゲーム 実施結果(地域施設)

2-4-3 売店等(道の駅)

	Aグループ(担当:北部エリア)	Bグループ(担当:南部エリア)	Cグループ(担当:西部エリア)
再編結果	なし	【現状維持】 ・江南地域食材供給施設【なご味】 ・大里農産物直売所 【移転】 ・大里農産物加工施設 ⇒中曽根(大里庁舎ほか)	なし
基本方針	新設などの検討なし	直売所と加工施設を一体施設として再編	新設などの検討なし
主な意見	➤ なし	➤ 大里農産物加工施設は大里農産物直売所と同敷地に移転し、一体施設として再整備するのが望ましい。	➤ なし

公共施設再編ゲーム 実施結果(地域施設)

2-4-4 小学校

	Aグループ(担当:北部エリア)	Bグループ(担当:南部エリア)	Cグループ(担当:西部エリア)
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良小学校 ・妻沼南小学校 <p>【集約(統合)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中条小学校 ⇒奈良小学校 ・長井小学校 ・秦小学校 ・妻沼小学校 ・男沼小学校 ・太田小学校 ⇒妻沼南小学校(新設を想定) 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉岡小学校 <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉見小学校⇒大里中学校 ・江南南小学校⇒江南中学校 <p>【集約(統合)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市田小学校⇒吉見小学校 ・江南北小学校⇒江南南小学校 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大麻生小学校 ・玉井小学校 ・別府小学校 ・三尻小学校 ・籠原小学校 ・新堀小学校
基本方針	2035年の児童数を目安に学校統廃合実施	江南、大里は各地区1校に再編	小学校は地域のシンボルであるため現状維持
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 小学校統合により生徒間に競争意識が芽生えるため、学校ににぎわいができ市にとってプラスになると思う。 ➢ 1学年1クラスだと6年間もしくは9年間ずっとクラスメイトや担任に変更がなく、マイナス面が生じるのではないか。 ➢ 妻沼には文化遺産があるため、国宝職人学校を設置してみるのも良い。 ➢ 統合後、校舎を他機能も含めた複合施設として新設をしたほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 教育環境の充実を図るため、クラス替えが行える規模を目安に統廃合を実施すべきである。 ➢ 統廃合を検討する際には、児童の通学時間を考慮し可能な限り学区の中央部に学校を配置したほうが良いと思う。 ➢ 統廃合後の児童の通学方法については、スクールバスの運行についても検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 統廃合は実施せずに空き教室を他機能に移転するなど活用する方針でいいのではないか。 ➢ 学校は地域のシンボルなので、廃校後も活用方法を検討すべきである。 ➢ 三尻小学校と三尻中学校は隣接しているため、セットで今後の再編の検討を行うべきである。 ➢ 西部エリアは人口が増加しており宅地化が進んでいる地区のため統廃合の必要性が実感できない。

公共施設再編ゲーム 実施結果(地域施設)

2-4-5 中学校

	Aグループ(担当:北部エリア)	Bグループ(担当:南部エリア)	Cグループ(担当:西部エリア)
再編結果	【現状維持】 ・中条中学校 ・妻沼西中学校 【集約(統合)】 ・奈良中学校⇒中条中学校 ・妻沼東中学校⇒妻沼西中学校	【現状維持】 ・大里中学校 ・江南中学校 【移転】 ・吉岡中学校⇒吉岡小学校	【現状維持】 ・玉井中学校 ・大麻生中学校 ・別府中学校 ・三尻中学校
基本方針	4校→2校に再編し、マンモス校化	吉岡中学校を吉岡小学校の同敷地内に移転	現状維持
主な意見	➤ 北部エリアは4校から2校に統合し、マンモス校となることで、スポーツが強くなり、熊谷市をラグビータウンをはじめとするスポーツの街となるきっかけになるのではないかと。	➤ 小中一貫校に再編できれば、教員が小中学生どちらにも指導ができるため、よりよい教育環境が整備できるのではないかと。	➤ なし

公共施設再編ゲーム 実施結果(地域施設)

2-4-6 体育館(小学校)

	Aグループ(担当:北部エリア)	Bグループ(担当:南部エリア)	Cグループ(担当:西部エリア)
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良小学校 ・秦小学校 ・妻沼小学校 ・男沼小学校 ・太田小学校 ・妻沼南小学校 <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中条小学校⇒今井(中条中ほか) ・長井小学校⇒江波(武道館ほか) 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉岡小学校 ・吉見小学校 ・江南南小学校 ・市田小学校 ・江南北小学校 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大麻生小学校 ・玉井小学校 ・別府小学校 ・三尻小学校 ・籠原小学校 ・新堀小学校
基本方針	廃校にした小学校の体育館については一部移転	現状維持	現状維持
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 夜間利用や市民開放など体育館の未使用時間の有効活用を積極的に実施することが望ましい。 ➤ 体育館は避難所機能のみならず追加の別機能についても検討することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 体育館は避難所という大切な役割があるため、廃校後も現状維持が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ なし

公共施設再編ゲーム 実施結果(地域施設)

2-4-7 体育館(地域・中学校)

	Aグループ(担当:北部エリア)	Bグループ(担当:南部エリア)	Cグループ(担当:西部エリア)
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妻沼運動公園 体育館 ・小島小・中学校 ・妻沼西中学校 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中条中学校 ・奈良中学校 ・妻沼東中学校 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里体育館 ・吉岡中学校 ・大里中学校 ・江南中学校 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江南体育館 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別府体育館 ・籠原体育館 ・玉井中学校 ・大麻生中学校 ・別府中学校 ・三尻中学校
基本方針	廃校にした中学校については体育館も廃止	江南体育館以外は現状維持	現状維持
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 夜間利用や市民開放など体育館の未使用時間の有効活用を積極的に実施することが望ましい。 ➢ 体育館は避難所機能のみならず追加の別機能についても検討したほうがいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 体育館は避難所という大切な役割があるため、廃校後も現状維持が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ なし

公共施設再編ゲーム 実施結果(地域施設)

2-4-8 プール

	Aグループ(担当:北部エリア)	Bグループ(担当:南部エリア)	Cグループ(担当:西部エリア)
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良小学校 ・妻沼南小学校 ・中条中学校 ・妻沼西中学校 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中条小学校 ・長井小学校 ・秦小学校 ・妻沼小学校 ・男沼小学校 ・太田小学校 ・小島小・中学校 ・奈良中学校 ・妻沼東中学校 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉岡小学校 ・江南中学校 <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市田小学校⇒大里中学校 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉見小学校 ・江南南小学校 ・江南北小学校 ・吉岡中学校 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大麻生小学校 ・玉井小学校 ・別府小学校 ・三尻小学校 ・籠原小学校 ・新堀小学校 ・玉井中学校 ・大麻生中学校 ・別府中学校 ・三尻中学校
基本方針	廃校にした学校のプール施設も廃止	小学校の統廃合に合わせて廃止	現状維持
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 小・中学校の統廃合に合わせて廃止することが望ましい。 ➢ スポーツジムなどの民間の水泳教室に水泳授業を委託できるのならば、代替が可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 小学校の統廃合に合わせて廃止することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 熊谷運動公園付近の学校については、運動公園のプールを水泳授業で利用できないか。 ➢ 水泳授業の必要性についても検討した方が良い。 ➢ 民間や市営プールへ送迎してまでも水泳授業を実施すべきなのか。 ➢ 子供を大切にしたい街づくりをしたいため現状維持が望ましい。

公共施設再編ゲーム 実施結果(地域施設)

2-4-9 給食施設

	Aグループ(担当:北部エリア)	Bグループ(担当:南部エリア)	Cグループ(担当:西部エリア)
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妻沼南小学校 ・妻沼西中学校 <p>【集約】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長井小学校 ・秦小学校 ・妻沼小学校 ・男沼小学校 ・太田小学校 <p>⇒妻沼南小学校(新設を想定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妻沼東中学校⇒妻沼西中学校 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大里中学校 <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉見小学校⇒大里中学校 <p>【集約】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市田小学校⇒吉見小学校 	<p>※全学校がセンター式のため対象施設なし</p>
基本方針	<p>温かい給食を提供するため北部エリアのみでの再編を実施</p>	<p>自校式給食室については現状維持</p>	<p>—</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自分が食べる物は自分で作るという自給自足の教育は必要ではないか。 ➢ 温かい給食を提供したいためセンター式を廃止し、自校式を推進したほうが良い。 ➢ 食育のため、自校式給食施設を維持するべきである。 ➢ 給食をオーガニック食材のみの使用など給食に工夫を凝らすのはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 保護者の中には自校式がいいという声がある。 	<p>—</p>

公共施設再編ゲーム 実施結果(地域施設)

2-4-10 児童館

	Aグループ(担当:北部エリア)	Bグループ(担当:南部エリア)	Cグループ(担当:西部エリア)
再編結果	【現状維持】 ・妻沼児童館(児童館) 【移転】 ・上須戸児童館⇒江波(武道館ほか)	エリア内に児童館施設なし	【廃止】 ・籠原公民館(西児童館)
基本方針	廃止は行わず、現状維持や移転	—	児童館機能は子供向け複合施設ができるため廃止
主な意見	➤ なし	—	➤ なし

2-4-11 保育所

	Aグループ(担当:北部エリア)	Bグループ(担当:南部エリア)	Cグループ(担当:西部エリア)
再編結果	【移転】 ・上須戸保育所⇒江波(武道館ほか) ・中条保育所⇒中条中学校 【民営化(公私連携法人協定締結)】 ・上須戸保育所 ・中条保育所	【現状維持】 ・江南保育所 【移転】 ・吉見保育所⇒吉見小学校 ・市田保育所⇒市田小学校	【現状維持】 ・籠原保育所 【移転】 ・玉井保育所⇒玉井小学校 【民営化(公私連携法人協定締結)】 ・玉井保育所
基本方針	エリア内の全2施設を公私連携にて民営化	小学校に移転し、児童クラブと併設	先行して1施設を公私連携にて民営化し、民営化が軌道に乗れば順次民営化
主な意見	➤ なし	➤ 保育所は公営サービスとして、行政が責任を持って直営で運営していく方が望ましい。	➤ 西部エリアは東西に保育所があるため、統合すると送迎などで不便になるのではないかと。

公共施設再編ゲーム 実施結果(地域施設)

2-4-12 児童クラブ

	Aグループ(担当:北部エリア)	Bグループ(担当:南部エリア)	Cグループ(担当:西部エリア)
再編結果	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妻沼南児童クラブ(妻沼児童館) ・奈良児童クラブ <p>【移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中条児童クラブ⇒奈良児童クラブ ・長井児童クラブ ・秦児童クラブ ・妻沼児童クラブ ・太田児童クラブ ⇒妻沼南児童クラブ 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江南南児童クラブ ・江南北児童クラブ ・大里さくら児童クラブ ・大里第二さくら児童クラブ ・第2江南南児童クラブ ・吉岡児童クラブ 	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1・2大麻生児童クラブ ・第1～3玉井児童クラブ ・第1・2別府児童クラブ ・第1～3籠原児童クラブ ・新堀児童クラブ ・西児童クラブ
基本方針	学校統廃合に合わせて再編	学校統廃合に関わらず児童クラブは現在地での現状維持	学校統廃合は実施しないため現状維持
主な意見	<p>➤ 児童クラブは集約する利点もあるが、各地域にあったほうが保護者としても安心して子供を利用させることができる。</p>	<p>➤ 子育て環境の充実のため、学校に併設している児童クラブについては、廃校後も現在地で運営していくことが望ましい。</p>	<p>➤ 児童クラブは今年度新たに2カ所新設するほど需要が高まっているため、現状維持が望ましい。</p>

2-5.公共施設再編ゲーム 総括

公共施設再編ゲームの検討結果から読み取れる事項について

広域施設の再編の方向性

- 庁舎機能は、将来的な職員数減少や人口減少に伴う行政サービス需要の低下に伴い、当該機能を中央エリアに集約することが望ましいとの意見が多かった。
- 窓口機能については、証明書のコンビニ発行等の電子化により機能の廃止が可能であるという意見もあるが、窓口利用が必要な市民に対しての窓口機能廃止後の新たな窓口サービスの提供方法について検討することが求められている。
- ホール機能、貸館機能については、施設数が多いため代替施設がある施設については廃止が望ましいとの意見が得られた。
- 図書館機能は、市民ニーズが高いため現状維持で、コミュニティの場として当該機能を拠点に複合化することが望ましいとの意見が得られた。
- 診療所など命に関わる施設については、現状維持を求められている。
- 博物館機能については、文化財倉庫は1カ所に集約することが望ましいとの意見が多かった。
- 雨の日でも遊べる室内型児童遊戯施設の新設を望む意見が多かった。
- 水浴施設については、民間施設利用により代替し、原則廃止との意見が多かった。

地域施設の再編の方向性

- 公民館機能は、原則小学校の空き教室への移転が望ましいとの意見が多かった。
- 貸館機能については、別施設への機能移転または地元譲渡が望ましいとの意見が多かった。
- 小・中学校の統廃合については、クラス替えが可能な規模を目安に統廃合を実施することが望ましいとの意見と現状維持が望ましいとの意見の2つに分かれた。また、積極的な統廃合を実施し、競争力のあるマンモス校として再編するという意見もあった。
- 学校施設の体育館機能については、避難所という役割も担っているため、廃校後も現状維持が望ましいとの意見もあった。また、授業で使われない時間帯の活用方法について検討することも求められている。
- 給食施設については、食育等の観点から自校式の維持を保護者から求められている旨の意見もあった。
- 児童クラブについては、児童の安全確保や子育て環境の充実のため、廃校後も現在地での現状維持することや、少なくとも広域での集約は実施しないことが求められている。

3.市民ワークショップアンケート調査結果

調査概要

アンケートの概要

- 実施日 : 平成30年12月1日(土)(※)
- 調査場所: ティアラ21 4階ハートピア会議室
- 調査対象: 市民ワークショップの参加者
- 参加者人数: 16名
- 有効回収数: 14名
- 有効回収率: 82.4%

※1日目目のみの参加者は11月17日(土)に実施。

アンケート調査票(イメージ)

【岩谷市公共施設再編 市民ワークショップ】参加者アンケート

2 日、「岩谷市公共施設再編 市民ワークショップ」にご参加いただき、ありがとうございます。
 皆様のご意見を今後の運営に反映していくため、アンケートにご協力をお願いします。

1. ワークショップに参加された感想をお聞かせください。
 (該当項目に口をつけてその理由や感想を書いてください。)

質問項目	質問項目					選択し得た回答
ワークショップが いかに楽しかったか。	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満	
施設再編ゲームの 難易度が 適切だったか。	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満	
施設再編ゲームの 材料類が 適切だったか。	1 満足	2 やや満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満	
施設再編の再編 の再編について、 関心は高まりましたか。	1 とても関心が 高まりました	2 関心が 高まりました	3 やや関心が 高まりました	4 あまり関心が 高まりませんでした	5 関心が 高まりませんでした	

2. その他、公共施設再編についてご意見やご感想等がありましたら、ご自由に記入ください。

3. あなたの性別、年齢についてお聞かせください。

性別	男	女					
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上

～アンケートにご協力頂きありがとうございました～

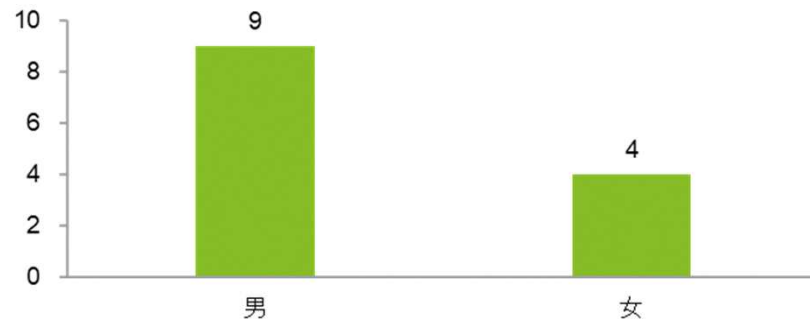
アンケートでの質問事項概要と回答者属性

質問事項概要

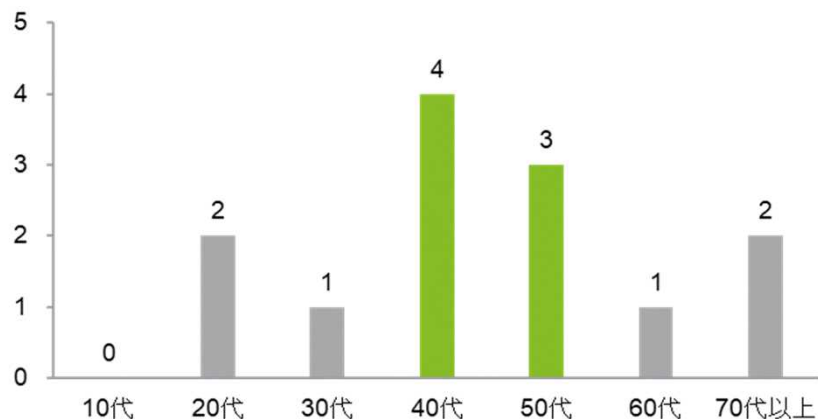
- 参加者の属性情報
 - ✓ 性別
 - ✓ 年齢
- ワークショップ全体の満足度について
- 公共施設再編ゲームの難易度について
- 公共施設再編ゲームの時間配分について
- 熊谷市の公共施設の再編に向けての関心が深まったか否か
- 自由回答

回答者の属性

- 性別構成 ※未回答1名

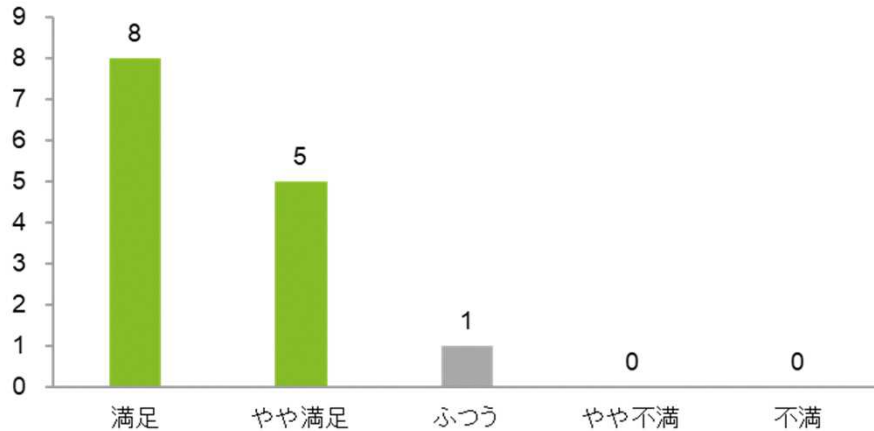


- 年齢構成 ※未回答1名

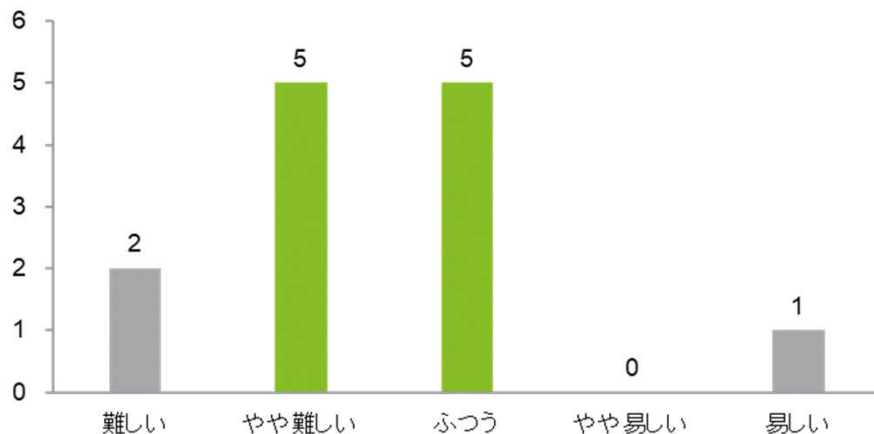


市民ワークショップに参加した感想

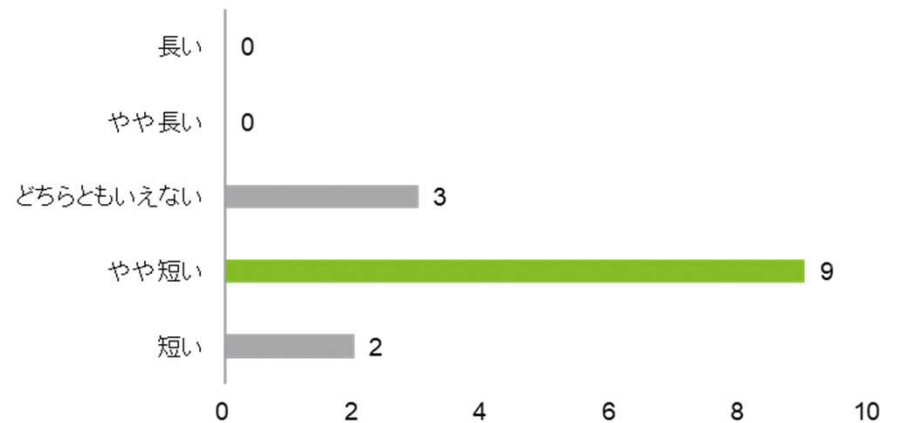
①市民ワークショップ全体の満足度について



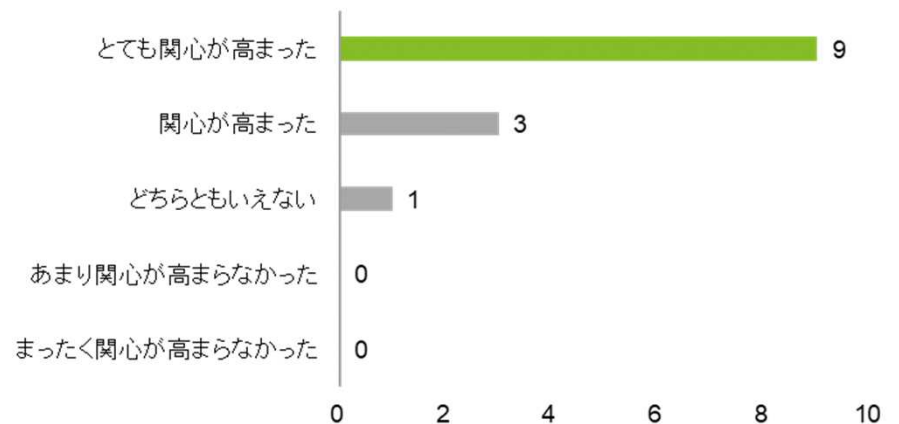
②公共施設再編ゲームの難易度について ※未回答1名



③公共施設再編ゲームの時間配分について



④熊谷市の公共施設の再編への関心について ※未回答1名



自由回答欄へのコメント

自由回答欄へのコメント

自由意見

- 廃止していく意見が多くて驚いた。実際は難しいと思うが、未来の熊谷のために1つの大きい立派なものをつくるのは良い意見だと思った。
- 文化のあるところに人は集まり、文化のある町に人は誇りを持ちます。そういった視点で人がやってくる町づくりをやってほしい。
- 熊谷市内の県所有施設とのすみわけを通じた効率化が必要だと思います。
- 高等教育施設(大学等)の誘致を行うことを考えてもいいと思いました。
- 生涯学習施設を充実してください。市街地に住んでいますが単身になり認知症の入口に立つ人が増えています。公民館(すぐ行ける範囲)を充実し、高齢者同士のつながり、学習する場として考えてほしい。また若い人と高齢者が出会う場としての複合施設の新設を考えてください。
- 熊谷市は農業の地なので子供に食を軸に教育を行うため、給食はセンターではなく各学校で実施したほうが良いと思う。
- 公民館等についての使われ方をはじめ体育館等も含めて「あるべき姿」と使われ方の「現状」「将来」の使われ方についてもまとめたものを(市としての方針)を配っていただくと良く理解できたと思う。
- 市内施設の在り方を主体にした人口構成などに深く興味を持つ機会となりました。
- これからの市政運営には必要なことだと思った。
- 地域によって現状や環境も違うので対応もそれぞれで非常に難しいと思いました。政治家任せにせずに市民参加が大切だと思います。
- ゲームとして完成度も高く、楽しく2日間過ごすことができました。実際のアセットマネジメントの推進には様々な意見の調整が必要であり、困難が予想されるが、将来の熊谷市のために強い気持ちで事務を精進し、計画の実現をしてほしいと思います。
- とてもいいワークショップでした。多くの人に知ってもらいたいです。また、機会があればぜひ参加したいです。